

(7) 事業計画概要書

a 基本事項

(a) 事業者名

株式会社江戸屋本店

(b) 構成員数

2社 (株式会社江戸屋本店、日本製パン(株)富士宮工場)

b 事業計画

(a) 提案趣旨

我々江戸屋は、当該敷地に、地域の人々が日常的に集まることのできる広場とカフェ+ギャラリーを提案します。当該敷地は、富士山世界遺産センターから浅間大社へ至る南北の参道軸と東西に伸びる商店街の交差する非常に重要な立地になっています。「富士宮市世界遺産のまちづくり整備基本構想」においても、当該地は「にぎわい創出ゾーン」として位置づけられていると同時に、「参道軸創出ゾーン」と「交流拠点創出ゾーン」の接点にも近接しており、まさにまちづくりの中心となるべき重要な場所であることが分かります。



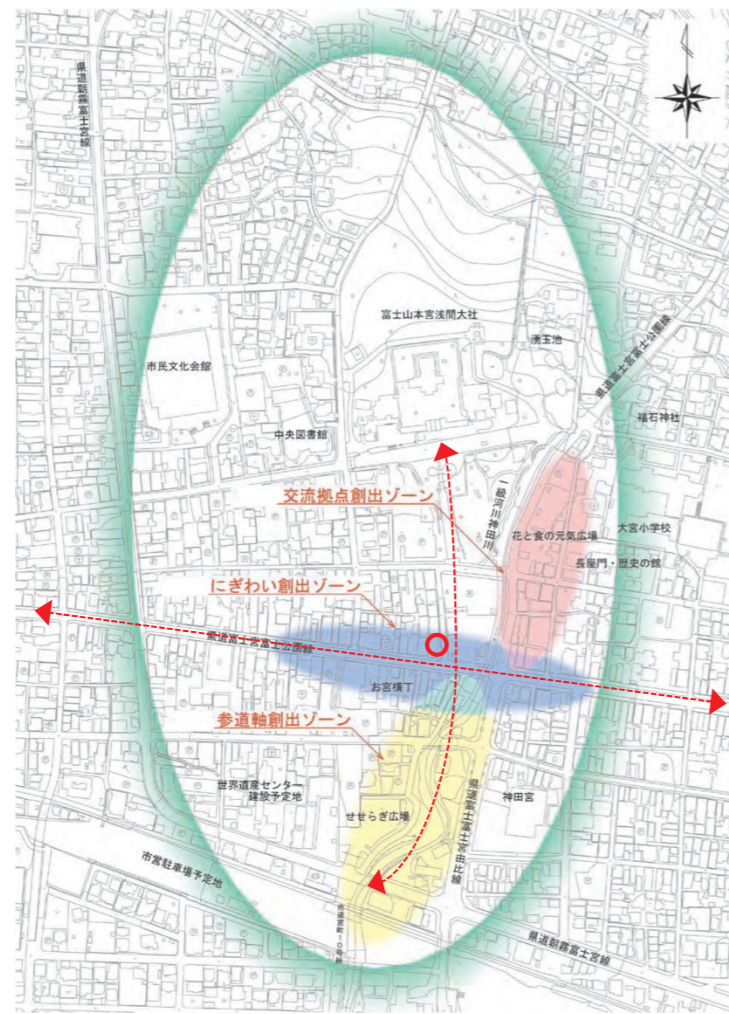
富士山本宮浅間大社



神田川ふれあい広場



静岡県富士山世界遺産センター



(富士宮市世界遺産のまちづくり整備基本構想より引用)



江戸屋菓子店 当時の様子



当時の江戸屋本店と本事業計画敷地

新設するカフェ+ギャラリーでは富士宮の食材を活かし、来訪者だけでなく、地域の人々が日々訪れたいくなるような安全・安心で美味しいメニューを提供します。カフェ+ギャラリーと本店ベーカリーが面するまちかど広場では、パンを買いに来た地元の方々、ランチに来た子育てママ世代、参拝ついでに立ち寄った来訪者などの交流をうながし、まちに賑わいをもたらします。

周辺のまちなみと調和しつつ富士山や大社へ呼応した開放的な施設デザインとし、世界遺産センターから大社にいたる新しい「参道軸」との関係性をふまえた施設・広場配置、そして神田川沿いを中心とした緑の連続性をまちなかに引き込む緑の景観づくりによって、地域の歴史・文化・景観に配慮しつつ、富士宮のまちの「新しい顔」を作り出します。



事業計画敷地



お宮横丁



神田川より浅間大社方向を見る

(b) 施設の内容（主要テナント）及び特徴

■カフェ+ギャラリー

- ・手作りのチーズや生乳を活かしたパン、有機野菜など地元食材を活かしたメニューの提供。
- ・ギャラリー+客席、地域の集まりやイベントに使える多目的なスペース。

■広場

- ・地域住民や参拝客、観光客の憩いの場となり、まち歩き拠点ともなるまちかど広場。
- ・カフェ+ギャラリーとベーカリーをむすぶエントランス空間とし、周辺地域と連携したイベントなどの開催。

(c) ターゲット層と想定年間利用者数

■ターゲット層

- ① 子育て世代の女性を中心とした地元住民
- ② 浅間大社への参拝客や観光客
- ③ 江戸屋本店の顧客層の立寄り

■想定年間利用者数

40,000 人程度

(d) 事業実施方法及び実施体制

事業実施方法：株式会社江戸屋本店による直営

事業者：株式会社江戸屋本店

構成員：日本製パン(株)富士宮工場

(e) 賃貸借期間（工事期間、開業準備期間および営業期間）

賃貸期間：29年11か月（令和2年4月1日～令和32年2月28日）

c 施設計画

(a) 建築概要

敷地面積 728.18 m²

建築面積 396.93 m²

延床面積 465.97 m²

階数 2階

構造 木造

(b) 施設の特徴

- ・周辺のまちなみと調和しつつ、富士山や大社へ向かって開かれた、開放的でスマートな施設デザイン
- ・世界遺産センターから大社を結ぶ「参道軸」からの人の流れを引き込む施設配置、広場デザイン
- ・神田川沿いに大社へと至る「緑の連続性」をまちなかに引き込む緑の景観づくり



事業計画イメージパース



富士宮市富士山本宮浅間大社周辺整備計画より引用

江戸屋本店新店舗お披露目式

次 第

日時: 令和6年9月12日(木)

午後2時から

場所: 江戸屋本店新店舗

- 1 開式
- 2 主催者挨拶
- 3 経過報告
- 4 祝辞
- 5 来賓紹介
- 6 閉式の辞

* 閉式後、ささやかながら新商品紹介等を兼ねてお食事を
御用意させていただきます。

会場の都合上、立食となりますことを御容赦ください。